

2006 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 文学部教福4回生	担当者 大倉 孝昭
授業テーマ プレゼンテーションの実践・評価活動を通じて、わかりやすく伝えるとはどういうことかを掘り下げる。 eラーニング、聴覚障害学生のための字幕支援（パソコン要約筆記）について研究を進める。		
授業の概要と目標 「Powerpoint」を利用して、プレゼンテーションを行い、相互評価をする。自分が理解したり考えたことを他の人に説明するにはどのように表現したらよいか、体験を通して学ぶ。IPTalkを用いたPC要約筆記によるテキストとドラゴンスピーチ（音声認識ソフト）を使ったテキストの比較を通じて、聴覚障害者支援のための字幕の最適化について研究を進める。		
評価方法 出席時数、発表回数、レポートの提出によって評価する。		
テキスト オンラインテキスト、PC要約筆記データ、SMILEforME コンテンツ	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. PowerPoint の利用法 2. 音声認識ソフトの利用法（1） 3. 音声認識ソフトの利用法（2） 自然科学概論の授業で実際に活用 4. 音声認識ソフトの利用法（3） 自然科学概論の授業で実際に活用 5. 音声認識ソフトから出力されるデータの検討 6. 音声認識ソフトから出力されるデータの分析（1） 7. 音声認識ソフトから出力されるデータの分析（2） 8. パソコン要約筆記とは何か 9. パソコン要約筆記データの検討 10. パソコン要約筆記データの誤り分析（1） 11. パソコン要約筆記データの誤り分析（2） 12. 要約筆記による要約率（音声認識ソフトとパソコン要約筆記の比較） 13. 音声認識ソフトと要約筆記の誤変換の特徴比較（1） 14. 音声認識ソフトと要約筆記の誤変換の特徴比較（2） 15. 字幕つきeラーニングコンテンツの作成演習（1） 16. 字幕つきeラーニングコンテンツの作成演習（2） 17. 字幕つきeラーニングコンテンツの作成演習（3） 18. 字幕つきeラーニングコンテンツの作成演習（4） 19. 教育学の研究内容 20. 教育学の研究手法 21. 卒論制作（1） 22. 卒論制作（2） 23. 卒論制作（3） 24. 卒論制作（4） 25. 卒論のWeb化（1） 26. 卒論のWeb化（2） 27. 卒論の発表（プレゼンテーション用スライド作成） 28. 卒論の発表シナリオ作成 29. 卒論発表練習 30. 卒論発表会・合評会 利用ソフト：PowerPoint、Excel、IPTalk、DragonSpeech、InternetExplorer		